

筑西市議会経済土木委員会

会 議 録

(令和6年第2回定例会)

筑西市議会

経済土木委員会 会議録

1 日時

令和6年6月19日(水) 開会：午前9時56分 閉会：午前10時32分

2 場所

全員協議会室

3 審査案件

議案第64号 市道路線の廃止について

議案第65号 市道路線の認定について

議案第70号 令和6年度筑西市一般会計補正予算(第1号)のうち所管の補正予算

議案第72号 令和6年度筑西市下水道事業会計補正予算(第1号)

4 出席委員

委員長 三澤 隆一君 副委員長 森 正雄君

委員 塚田 砂与君 委員 吉富 泰宣君 委員 田中 隆徳君

委員 増淵 慎治君 委員 堀江 健一君 委員 秋山 恵一君

5 欠席委員

なし

6 議会事務局職員出席者

書記 宮川 尚訓君

委員長 三澤 隆一

○委員長（三澤隆一君） それでは、ただいまから経済土木委員会を開会いたします。

ただいまの出席委員は8名であります。よって、委員会は成立しております。

それでは、本委員会に付託されました議案について審査してまいります。

なお、議案審査の順序ですが、お手元に配付いたしました順番で、市道路線議案2案及び補正予算議案2案について、所管部ごとに審査を願いたいと存じますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君） ありがとうございます。

また、筑西市議会基本条例第19条の申し合わせ事項により、議員間討議を当分の間、試行的に委員会の会議にて行うこととされておりますので、討議を希望される場合は、挙手を願います。

それでは、各議案について所管部ごとに審査をしてまいります。

初めに、経済部です。

議案第70号「令和6年度筑西市一般会計補正予算（第1号）」のうち、経済部所管の補正予算について審査を願います。

なお、議案第70号については複数の部にまたがるため、全ての部の審査の終了後、討論、採決をしたいと存じます。

それでは、水田農業振興課から説明を願います。

岩淵水田農業振興課長、お願いします。

○水田農業振興課長（岩淵里之君） 水田農業振興課、岩淵です。よろしくお願いたします。着座にて失礼いたします。

議案第70号のうち、水田農業振興課所管の補正予算について説明させていただきます。

9ページを御覧願います。歳入歳出補正予算事項別明細書、2、歳入です。款16県支出金、項2県補助金、目6農林水産業費県補助金、節1農業費補助金、説明欄64、いばらきの産地パワーアップ支援事業費補助金について1,604万9,000円の増額をお願いするものとなります。内容は、歳出にて説明させていただきます。

次に、16ページを御覧願います。歳入歳出補正予算事項別明細書、3、歳出です。款6農林水産業費、項1農業費、目3農業振興費、節18負担金補助及び交付金、説明欄、産地パワーアップ支援事業費補助金（普通作）について1,604万9,000円の増額をお願いするものです。これは、国の補助事業である産地生産基盤パワーアップ事業のうち、麦、大豆の国産シェア拡大対策として、生産拡大に向け農業機械を導入する事業の採択を受けた農業者に対し、事業に係る経費の2分の1を補助金として交付し、支援するものです。

詳細は、輸入依存から国産化へのニーズが高まる麦において、パン用小麦「ゆめかおり」を生産し、製粉会社等の実需者と直接契約する1件の農業者が汎用コンバイン、トラクター及び自動操舵システム等のスマート農業技術を導入し、生産拡大を図る取組が採択されたものです。

説明は以上となります。どうぞよろしくお願いたします。

○委員長（三澤隆一君） それでは、質疑を願います。

吉富委員。

○委員（吉富泰宣君） ありがとうございます。今回のこの事業者の方、農業機械関係は、スマート農業の観点で機械を増設されるということで、承知いたしました。ほかにこの補助金をお使いいただけるような事業者の方は本市にいらっしゃるのでしょうか。例えば輸出関係を考えていらして、倉庫の増設とか、その辺を考えていらっしゃる方がいらっしゃるのかという内容が1点と。

この事業をこの補助金使うためには、これってどうなのでしょう。事業者が使いたいですとか言って初めて動くのですか、それとも本市のほうが、執行部のほうが基本的にこういった事業あるので、お使いくださいという、どちらのほうのアプローチになるのか、その2点について教えていただければと思いますが、よろしいでしょうか。

○委員長（三澤隆一君） 岩渕水田農業振興課長。

○水田農業振興課長（岩渕里之君） 答弁いたします。

今回の補助事業に関しましては、国産の麦、大豆の増産に関する補助事業になりますので、そこは該当しません。また、こちら国補事業でございますので、国のほうの事業要望に際しまして、事業の採択を希望する農業者が手を挙げる形になっております。あと、公募期間もかなり短いものになっておりますので、なかなか難しいものです。事前に農業者の方が周知している場合が多い形でございます。

以上でございます。

○委員長（三澤隆一君） 吉富委員。

○委員（吉富泰宣君） はい、分かりました。

以上です。

○委員長（三澤隆一君） ほかにございますか。

田中委員。

○委員（田中隆徳君） では、数点お願いします。

この採択者名、法人でも個人でも結構です。どなたなのか。

それと、これその採択の審査に何名ぐらいの応募があったのか。採択方法を教えてください。

○委員長（三澤隆一君） 岩渕水田農業振興課長。

○水田農業振興課長（岩渕里之君） 答弁いたします。

今回の事業主体の該当者は、下館地区の法人になります。法人1件でございます。この要望された方は、2名ございましたが、要件に該当した方が1名ございました。

以上でございます。

○委員長（三澤隆一君） 田中委員。

○委員（田中隆徳君） 法人。

○委員長（三澤隆一君） 岩渕水田農業振興課長。

○水田農業振興課長（岩渕里之君） はい、下館地区の法人。

○委員長（三澤隆一君） 田中委員。

○委員（田中隆徳君） 法人名は分からないのですね。

○委員長（三澤隆一君） 岩渕水田農業振興課長。

○水田農業振興課長（岩渕里之君） 法人名はありますけれども、一応個人名ですので、控えさせていた

だければと思うのですけれども、かなり大きい方です。常時従事者が11名いらっしゃるということで、かなり大きく、100ヘクタール以上の耕作をしている大手の農業者でございます。

（「問題あるまい、名前。経営体名」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君） 岩渕水田農業振興課長。

○水田農業振興課長（岩渕里之君） ああ、そうですか。ご存じかと思われましてけれども、有限会社山善農園さん、きらいちの前でやっている大きい倉庫ありますよね。あの方です。

○委員長（三澤隆一君） 田中委員。

○委員（田中隆徳君） 分かりました。

○委員長（三澤隆一君） ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君） ないようですので、質疑を終結いたします。

以上で経済部の審査を終了いたします。

執行部の入替えをお願いします。お疲れさまでした。

〔経済部退室。建設部入室〕

○委員長（三澤隆一君） では、次に建設部の審査に入ります。

議案第64号「市道路線の廃止について」、審査を願います。

なお、執行部から提出のありました資料をタブレットの端末に格納しておりますので、御覧ください。

それでは、道路維持課から説明を願います。

水越道路維持課長、お願いします。

○道路維持課長（水越正則君） こんにちは。道路維持課の水越と申します。どうぞよろしく申し上げます。着座にて失礼します。

議案第64号「市道路線の廃止について」、ご説明申し上げます。

2ページを御覧ください。調書番号1番及び2番の下館地区2路線の廃止でございます。廃止の延長は2路線合わせて1,072.41メートルでございます。調書番号1番及び2番の路線につきまして、用途廃止申請が提出され、廃止するものでございます。各路線の起点、終点及び延長につきましては、記載のとおりでございます。

参考資料といたしまして、市道廃止路線位置図及び市道廃止路線全体図を次のページから添付させていただいております。また、経済土木委員会用にさらに詳細な資料を配付させていただいておりますので、併せて御覧いただきますようお願い申し上げます。

廃止については、以上でございます。ご審議のほどよろしく願いいたします。

○委員長（三澤隆一君） それでは、質疑を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君） 質疑を終結いたします。

討論願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君） 討論を終結いたします。

これより議案第64号の採決をいたします。

議案第64号「市道路線の廃止について」、賛成者の挙手を願います。

[賛成者挙手]

○委員長（三澤隆一君） 挙手全員。よって、本案は可決されました。

次に、議案第65号「市道路線の認定について」、審査を願います。

道路維持課から引き続き説明を願います。

これも資料が入っておりますので、確認をお願いします。

お願いします。

○道路維持課長（水越正則君） 議案第65号「市道路線の認定について」、ご説明申し上げます。

2ページを御覧ください。調書番号1番から3番の下館地区3路線の認定でございまして、認定の延長は3路線合わせて902メートルでございます。調書番号1番から3番の路線につきまして、用途廃止申請が提出され、廃止した路線の一部を市道として再認定するものでございます。各路線の起点、終点及び延長につきましては、記載のとおりでございます。

参考資料といたしまして、市道認定路線位置図及び市道認定路線全体図を次のページから添付させていただいております。

説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○委員長（三澤隆一君） 質疑を願います。

吉富委員。

○委員（吉富泰宣君） すみません。1点だけ教えてください。

先ほどの廃止、認定あるのですが、これって今、道路維持課のほうで作業されている作業の内容の中で、DXして、さらにリードタイムを短縮するようなシステム導入案件というのはあるものなののでしょうか。それともこの作業というのは、全部例えばエクセル等でハンドで入れざるを得ないとか、その辺についての要するにDX化案件あるよとかというようなテーマはあるのかどうかだけちょっと教えていただいてもよろしいですか。それとも、いや、もうこれはハンドでやるしかないのですという部分について、お願いいたします。

以上です。

○委員長（三澤隆一君） 水越道路維持課長。

○道路維持課長（水越正則君） 答弁いたします。

DXの予定は今のところはございません。現在使っている道路台帳を使用して、現行のまま当面は続けたいと思っています。

○委員長（三澤隆一君） 吉富委員。

○委員（吉富泰宣君） ハンド作業しか要は選択肢は今のところないよという整理でよろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君） よろしいですか。

○委員（吉富泰宣君） はい、分かりました。

以上です。

○委員長（三澤隆一君） ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君） それでは、質疑を終結いたします。
討論を願います。

〔なし〕と呼ぶ者あり〕

○委員長（三澤隆一君） 討論を終結いたします。
これより議案第65号の採決をいたします。

議案第65号「市道路線の認定について」、賛成者の挙手を願います。

〔賛成者挙手〕

○委員長（三澤隆一君） 挙手全員。よって、本案は可決されました。
以上で建設部の審査を終了いたします。お疲れさまでした。
それでは、執行部の入替えをお願いします。

〔建設部退室。都市整備部入室〕

○委員長（三澤隆一君） 次に、都市整備部の審査に入ります。

議案第70号「令和6年度筑西市一般会計補正予算（第1号）」のうち、都市整備部所管の補正予算について審査を願います。

それでは、根本都市計画課長、お願いいたします。

○都市計画課長（根本嘉之君） 都市計画課、根本です。どうぞよろしくをお願いいたします。着座にて説明させていただきます。

議案第70号「令和6年度筑西市一般会計補正予算（第1号）」のうち、都市計画部都市計画課所管の補正予算についてご説明いたします。

5ページをお開き願います。第3表、地方債補正（追加）でございます。起債の目的、街路事業、限度額4,630万円の追加をお願いするものでございます。詳細につきましては、歳出にてご説明いたします。

続きまして、10ページをお開き願います。歳入歳出補正予算事項別明細書、2、歳入でございます。下の段、款22項1市債、目8土木債、節4都市計画債、説明欄1街路事業債4,630万円の増額補正をお願いするものでございます。

続きまして、16ページをお開き願います。3、歳出でございます。中段の款8土木費、項4都市計画費、目3街路事業費、節14工事請負費、説明欄小川線街路整備事業の道路改良舗装工事に4,879万9,000円の増額補正をお願いするものでございます。

内容につきましては、5月21日の全員協議会にてご協議いただきました小川線街路整備事業において汚染が判明した発生土処分に係る費用となっております。なお、搬出先につきましては、処分単価が安価である山形県の処分場になってございます。

説明は以上でございます。ご審議よろしくをお願いいたします。

○委員長（三澤隆一君） それでは、質疑を願います。
吉富委員。

○委員（吉富泰宣君） ありがとうございます。1件だけ教えていただきたいと思えます。

下水道課は、もう既にこの山形の最終処分場は設置をされている。前の下水汚泥を最終処分場に送られているよと。これは、年1回のモニタリングもやっつけらっしゃるといふふうになっております。今回、この本事業コストの見直しをかなりの額、1億円を超えていたものが4,800万円台になったということで、

VE案事案としてもかなり大きい事例なのかなというふうに思いました。特に今回の内容を受けて、都市計画課のほうの事務作業で、いわゆる要するに下水道課はもう既に最初から山形最終処分場を使っている。都市計画は先に県のほうの処分場を適用されるよといったときに、結局その相みつではないのですけれども、情報の共有の仕方という部分で何らかの改善事項があったのではないかなというふうに私自身は感じたわけでございます。そういう意味で、今回の事案を受けて、工夫をされる取組等に何らかの中でつながった内容があれば教えていただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

○委員長（三澤隆一君） 根本都市計画課長。

○都市計画課長（根本嘉之君） 最初は、処分が確実なところというふうなところで、茨城県というふうなことで検討していました。しかしながら、議員のご提案もありましたとおり、山形県というふうな処分場になったわけでございます。これにつきましては、私たちのほうでも十分に横のつながりを密にして、今後はそうならないように事業を進めてまいりますので、よろしく願いいたします。

○委員長（三澤隆一君） 吉富委員。

○委員（吉富泰宣君） 額が額だったので、仁平議員とか、いろいろな方が、堀江議員も含めていろいろなアクションを起こしたと。結局ある意味私に言わせると流出をしていると。結局議員サイドの全員協議会に来る前に、それが分かれば、もっとスピーディーにできたのかなという部分で改善していただければなというふうに感じましたので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

○委員長（三澤隆一君） よろしいですか。

ほかにございますか。

田中委員。

○委員（田中隆徳君） 1点だけ。

結果的にそのジークライトに門戸を広げられたというのは、私よかったのではないのかなと思っています。ただ、一応これから茨城県内でももう処分場がいっぱいですし、またその残土条例なんかも含めて検査なんか随分細かくなっていますから、今後そういうまた同じような案件が出ないとも限らないと思うのです。そういった中で、やっぱりこのパイプはつないでおいたほうが、筑西広域市町村圏事務組合なんかも含めて、これっきりというのではなくて、その門戸を開いたジークライトでも何でもそこはパイプはつないでおいたほうが私はいいと思うので、今後とも本当にそういう形で検討してもらうようにぜひよろしくお願いいたします。

ぜひ何か一言あれば。

○委員長（三澤隆一君） 根本都市計画課長。

○都市計画課長（根本嘉之君） アドバイス、どうもありがとうございました。今後もそのように努めさせていただきます。

○委員長（三澤隆一君） 堀江委員。

○委員（堀江健一君） 1つお願いしたいのですけれども、この4,879万9,000円というのは、これは処分費ですね。この場所を住民からできるだけ早く開通をしてほしいという要望があるのです。これは、予算はいつ頃つけて、いつ頃完成する予定ですか。ちょっとその点お聞きします。

○委員長（三澤隆一君） 根本都市計画課長。

○都市計画課長（根本嘉之君） 議決後に早急に契約を結びまして、今年度中に、1月末ぐらいを目指しまして工事完了をする予定でございます。

○委員長（三澤隆一君） 堀江委員。

○委員（堀江健一君） これは、だって4,879万円というのは、これは処分費でしょう。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○委員（堀江健一君） （続）処分費で工事はできないから、そうすると9月の議会辺りに補正組んで、そして年内いっぱい終わらせるという予定なの。そういう答弁だったの。

○委員長（三澤隆一君） 根本都市計画課長。

○都市計画課長（根本嘉之君） 今回のは処分費でございまして、処分を7月から2か月ぐらいをかけまして処分いたします。その後、事故繰越をいたしております工事請負費で続けて工事を行っていく予定でございます。

○委員長（三澤隆一君） 堀江委員。

○委員（堀江健一君） では、予算はもう既にとっているのだな。その予算でこれ処分した後、予算取っているから、年度内に工事をして開通予定だということだね。でいいのよね。

○委員長（三澤隆一君） 根本都市計画課長。

○都市計画課長（根本嘉之君） そうでございます。

○委員長（三澤隆一君） よろしいですか。

○委員（堀江健一君） はい。

○委員長（三澤隆一君） ほかにございますか。

塚田委員。

○委員（塚田砂与君） 現場にちょっと私も行ってきたのですが、近隣の方が飲料水の汚染に関して気にされているようだったのですが、その辺りはいかがでしょうか。

○委員長（三澤隆一君） 根本都市計画課長。

○都市計画課長（根本嘉之君） 直接土を口にしない限りは大丈夫だとはお伺いしています。

あと、飲料水についても、地下水についても染み出すというふうなことはないというふうなことで聞いております。ですので、地下水については大丈夫だというふうなことでお伺いしています。

○委員長（三澤隆一君） 塚田委員。

○委員（塚田砂与君） はい、分かりました。

○委員長（三澤隆一君） ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君） それでは、質疑を終結いたします。

以上で議案第70号については、全ての説明、質疑を終了いたしました。

引き続き、討論を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君） 討論を終結いたします。

これより議案第70号の採決をいたします。

議案70号「令和6年度筑西市一般会計補正予算（第1号）」のうち、所管の補正予算について、賛成者の

挙手を願います。

[賛成者挙手]

○委員長（三澤隆一君） 挙手全員。よって、本案は可決されました。

以上で都市整備部の審査を終了いたします。

執行部の入替えをお願いいたします。お疲れさまでした。

[都市整備部退室。上下水道部入室]

○委員長（三澤隆一君） それでは、次に上下水道部の審査に入ります。

議案第72号「令和6年度筑西市下水道事業会計補正予算（第1号）」の審査を願います。

下水道課から説明を願います。

岡本下水道課長、お願いします。

○下水道課長（岡本崇生君） 下水道課の岡本です。よろしく願います。着座にてご説明させていただきます。

議案第72号「令和6年度筑西市下水道事業会計補正予算（第1号）」について、ご説明いたします。

第1条 令和6年度筑西市下水道事業会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

第2条 令和6年度筑西市下水道事業会計予算（以下「予算」という。）第3条に定めた収益的支出の予定額を次のとおり補正する。

第1款下水道事業費用、第2項営業外費用の既決予定額に450万円の増額補正をお願いするものでございます。これは、過大に借り入れました元金に係る利息でございます。

次に、第3条 予算第4条本文括弧書中資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額「6億7,355万3,000円」を「7億1,535万3,000円」に、過年度分損益勘定留保資金「5億2,484万4,000円」を「5億6,664万4,000円」に改め、資本的支出の予定額を次のとおり補正する。

第1款資本的支出、第2項企業債償還金の既決予定額に4,180万円の増額補正をお願いするものでございます。これは、過大に借り入れました元金の繰上償還分でございます。

なお、議案書の2ページには、下水道事業会計補正予算実施計画、3ページには予定キャッシュ・フロー計算書、4ページには補正予算実施計画明細書を添付させていただいております。

説明は以上でございます。よろしく願います。

○委員長（三澤隆一君） それでは、質疑を願います。

吉富委員。

○委員（吉富泰宣君） 3点ございます。よろしく願います。

仮にこの450万円の利息の支出がもう現実的に発生する。マックスが450万円なのだというふうにこの間の全員協議会でも伺っているのですが、マックス450万円の利息が発生した場合、当初予算に対してこれ悪化させることから、これは挽回策とかを講じるということはあるのでしょうか。例えば下水汚泥は年間1,000トン最終処分場に送られておられますねと、最終処分場はそのうち3分の2の660トンですか、ざっくり。最終処分に送られているよと。仮に費用がこの最終処分場の費用が輸送とか含めてざっくり1トン当たり4万5,000円とした場合、要は早い話、最終処分場に送るやつを100トン、では堆肥化してしまえば基本的にその450万円は挽回できるわけですよと、そういったことで、ただそれだけは手作業だということを私もあの現場見て分かっているの、年間100トンも増やせられればもうやっちゃっているよという世界なので、

要は挽回という意味は、1トンでも2トンでもそういった悪化させたということがあるので、挽回策を講じられるということはあるのかという内容が1点。

2点目、対策についてですが、再発防止策でございます。発生に対する対策と流出に対する対策があるかと思えます。では、そういう整理をされて対策は講じられているのでしょうか。例えば前回全員協議会でのご説明でいきますと、原因といたしまして、何か瞬間的に処理件数が10件あったと、まれだと、何かそういった話をされていた記憶がございます。そういった場合、発生原因が10件ということであれば、対策は、いや、処理件数減らしますよという内容になろうかと思えます。だから、別に流出対策は何で金融機関に漏れたのですかという内容になろうかと思えますので、そういう意味で発生に対する対策、流出に対する原因に対する対策が必要かと思うのですが、その点どうなのでしょうかという内容が2点目。

3点目でございますが、こういう事例は庁内全体でも起こり得ることが予想されるのではないのでしょうか。情報共有、対策の水平展開という観点で、庁内基本的に共有化実施されているのか、伺いたいと思います。

以上でございます。

○委員長（三澤隆一君） 岡本下水道課長、お願いします。

○下水道課長（岡本崇生君） 答弁申し上げます。

まず、対策につきましてですけれども、今回11本の事業について借入れがありまして、借入れ数が多かったということで、ミスが起きたわけでございますが、今後につきましては、担当者だけではなく、係内での職員間の情報共有を図りながら、互いに理解し、疑問を解決することで事前にミスが防げると考えておりますので、また決裁時においては分かりやすく、丁寧な起案文書の作成及び私、課長をはじめとしまして、職員間でのチェックを入念に行いまして、チェック体制の強化を図り、以後このようなことがないように努めていきたいと考えているところでございます。

3つ目の質疑に対しましては、庁内やはり同じようなことが起こる可能性があると思っておりますので、やはり情報共有を図りながら、このようなことがないように努めていくことが大事ではないかと考えております。

1つ目のご質疑に対しましては、堆肥化につきましては、委員おっしゃったとおり、手作業で行っている部分もありますので、なかなか現実的には難しいというふうに考えておりますが、できる限り堆肥化しまして、それに堆肥化につきましては、山形県のジークライトのほうに処分しておりますので、今後も続けていきたいと考えているところでございます。

以上です。

○委員長（三澤隆一君） 吉富委員。

○委員（吉富泰宣君） 2点目の対策関係、今の課長の対策関係でいくと、早い話、流出対策頑張りますというのがメインなのかなというふうに思いました。そういう意味で、発生の方はこれって、これもDX化何とかできないのですかねと、結局ダブったわけだから、ダブりの基本的に検出する仕組みを入れられないのかなというふうに、結局前年度と同じ全く事業を借りてしまったわけですから、その点基本的にDX化して、ダブリ作業は引っかけるといようなことの仕組みを、業者、そういった仕組み持っていないのかなというふうにちょっとそれの間全員協議会で聞いたときに伺ったので、発生の方は結局人間

系だけ頑張っても、この間の全員協議会では、菊池副市長が私のところで5%引っかけていますなんていうお話をされているわけなので、結局5%というと、ppmにすると5万ppmなのです。そういう意味からして、ちょっと流出頑張りますとご報告いただいても、若干ちょっと説得力に欠けるかなというふうに思いますので、できれば発生のほうでDX化して、基本的に人間系が可能な限りないようにして、結局ハンドをされているのかと思うのですが、よく今の世の中の部分の情報を収集していただいて、可能な限り発生のほうはDX化していただいて、人間系かまさない。今おっしゃった流出対策については人間系頑張らないといけないのしょうけれども、課長が頑張りますとおっしゃっても、課長がいないときはどうするのというようなときもあろうかと思しますので、ではそのいないときは作業を止めるのですかとか、そういった突っ込みもさせていただきたい部分もあろうかと思しますので、その点よく課内でももんでいただきたいなというふうに思いましたので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

○委員長（三澤隆一君） よろしいですか、答弁は。

○委員（吉富泰宣君） はい。

○委員長（三澤隆一君） ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君） それでは、質疑を終結いたします。

討論願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君） 討論を終結いたします。

これより議案第72号の採決をいたします。

議案第72号「令和6年度筑西市下水道事業会計補正予算（第1号）」について、賛成者の挙手を願います。

〔賛成者挙手〕

○委員長（三澤隆一君） 挙手全員。よって、本案は可決されました。

以上で上下水道部の審査を終了いたします。執行部は退席願います。ご苦労さまでした。

〔執行部退席〕

○委員長（三澤隆一君） 以上で経済土木委員会に付託されました議案の審査は全て終了いたしました。

なお、最終日の本委員会の審査結果報告につきましては、委員長に一任いただきたいと思います。

また、今定例会最終日に「閉会中の所管事務調査について」、提出をいたします。

以上をもちまして、経済土木委員会を閉会いたします。お疲れさまでございました。

閉 会 午前10時32分